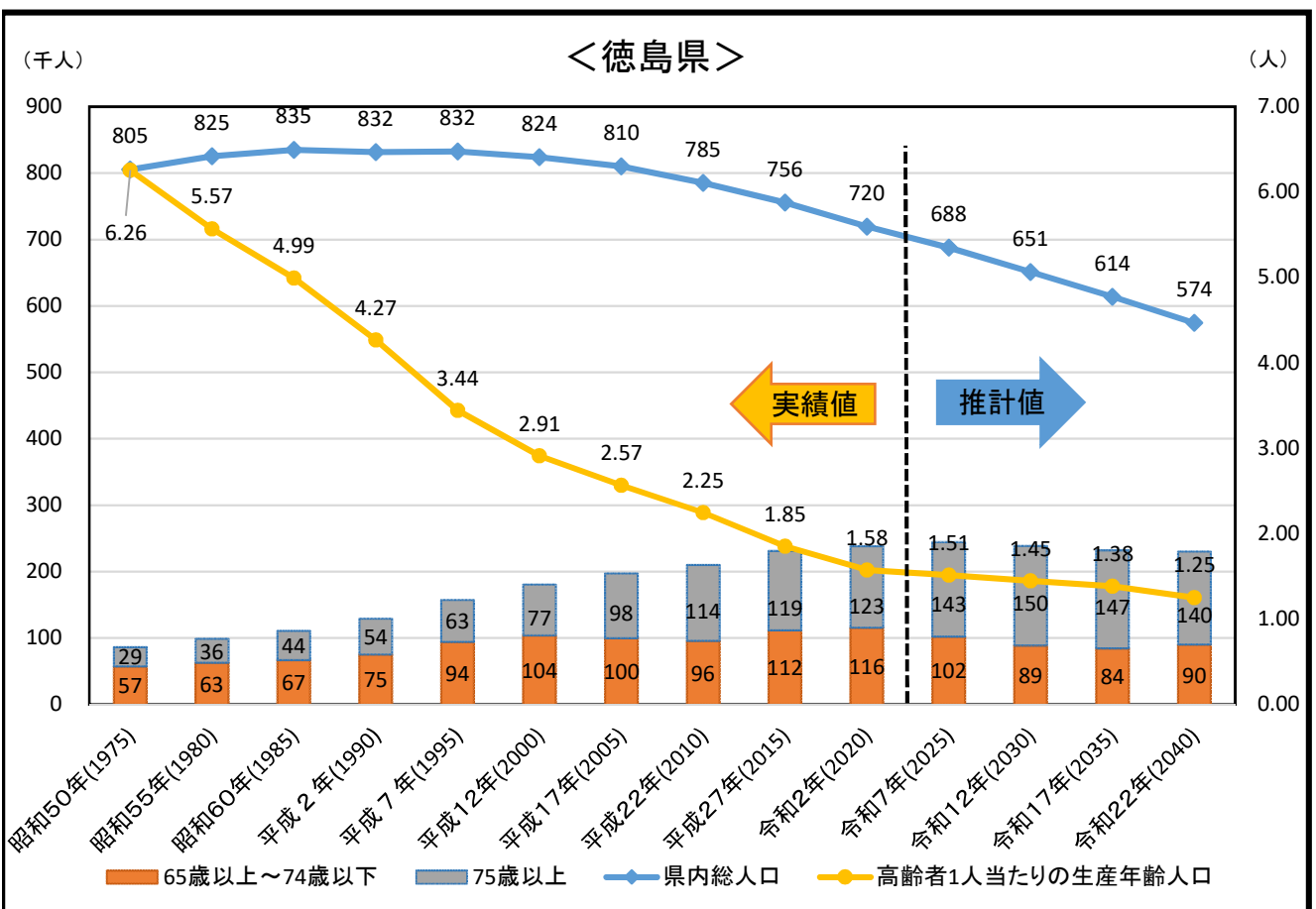
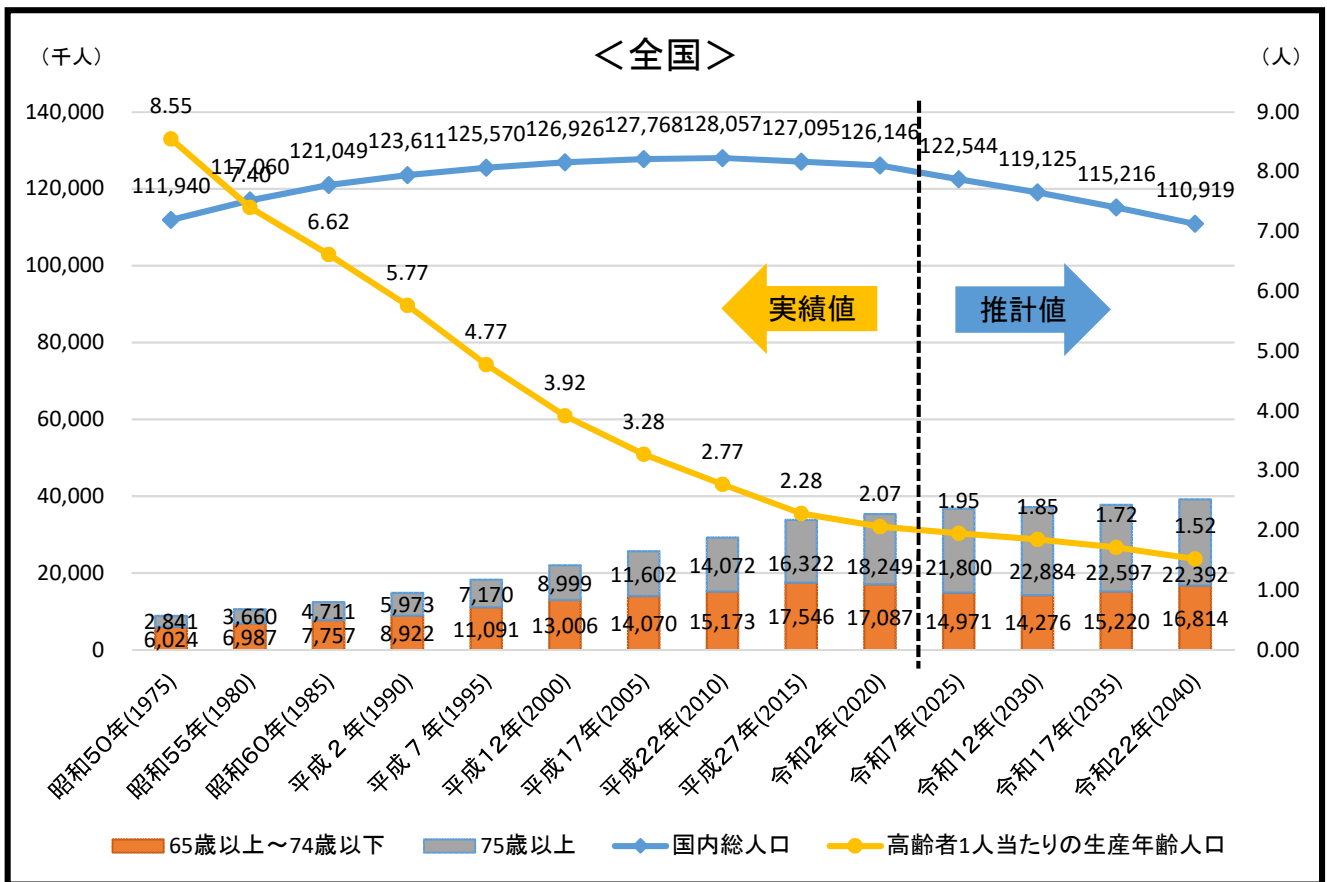


徳島県の高齢化等の状況

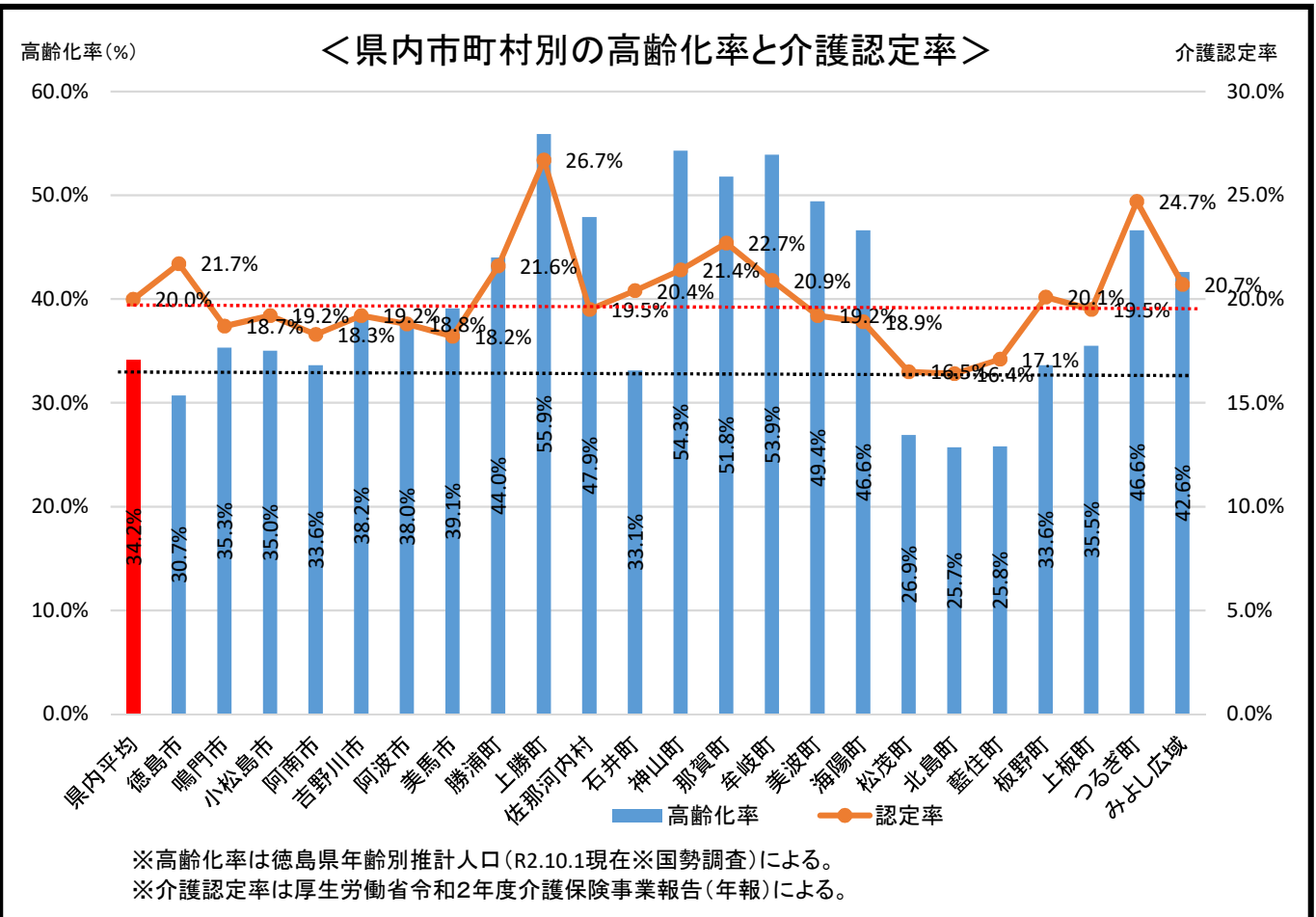
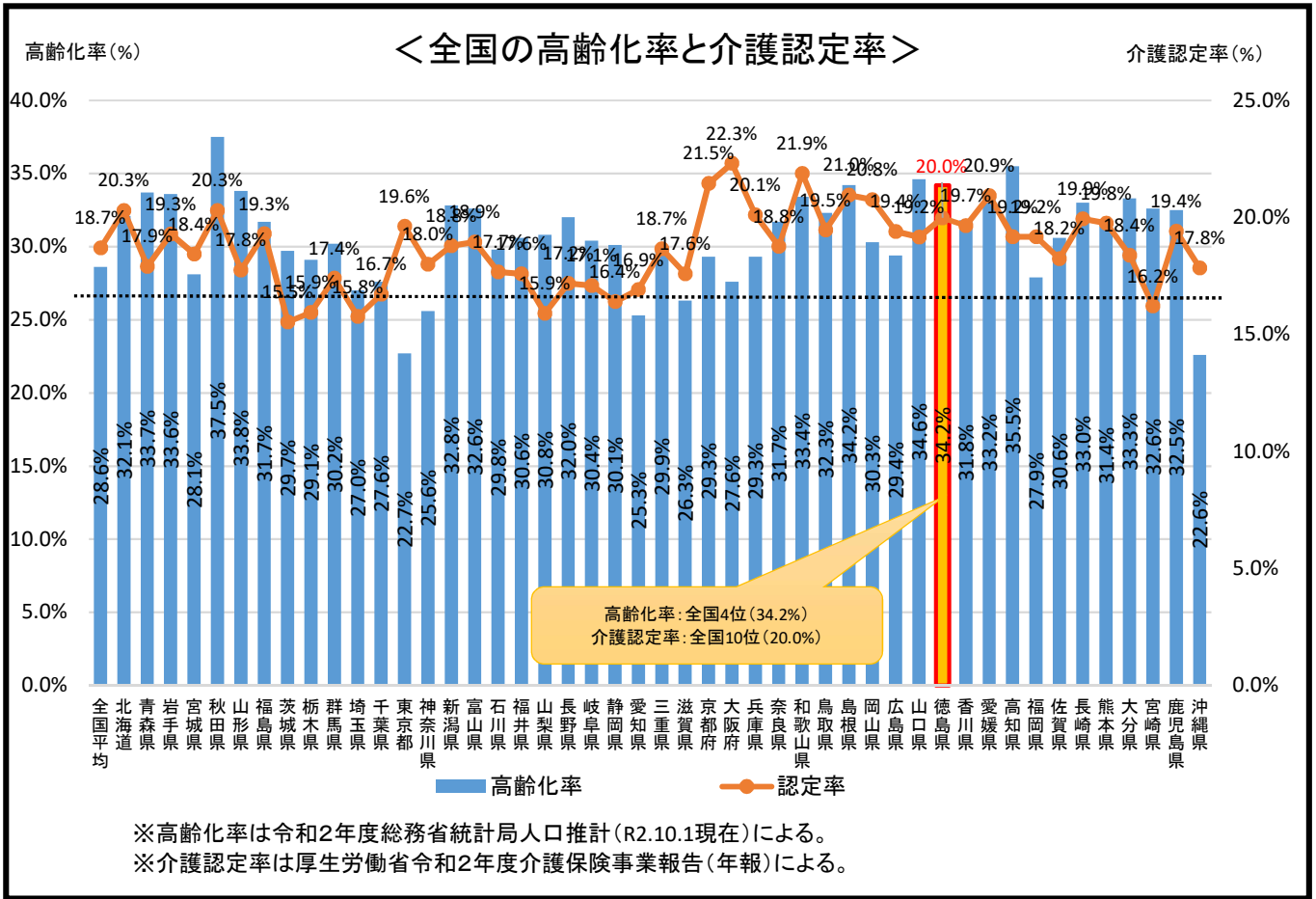
項 目	頁
高齢者人口の推移（全国・徳島県）	1
高齢化率と介護認定率の状況（都道府県別・県内市町村別）	2
高齢化率の推移・平均寿命の推移	3
高齢者世帯の推移（全国・徳島県）	4
人口ピラミッドの将来推計（全国）	5
人口ピラミッドの将来推計（徳島県）	6
介護職員の需要推計	7

高齢者人口の推移(全国・徳島県)



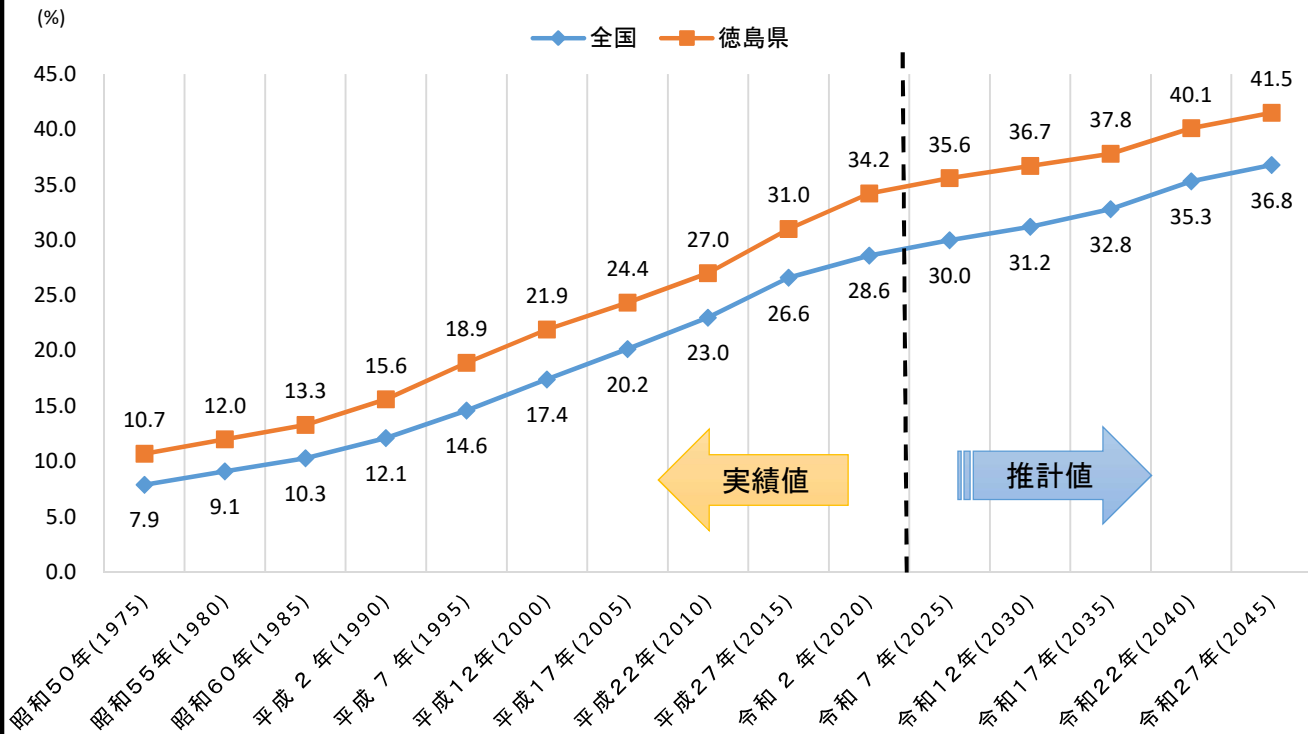
(出所) 実績値は総務省統計局「国勢調査」、推計値は国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」による。

高齢化率と介護認定率の状況



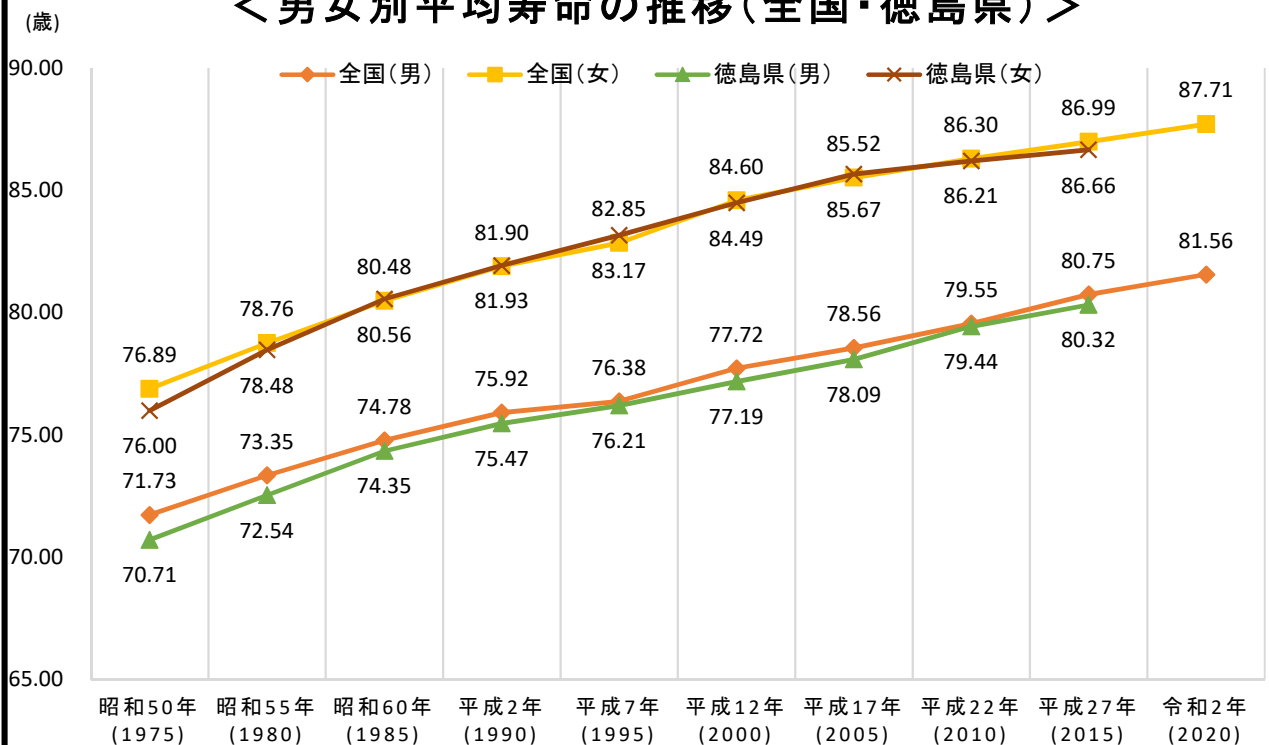
高齢化率の推移・平均寿命の推移

<高齢化率の推移(全国・徳島県)>



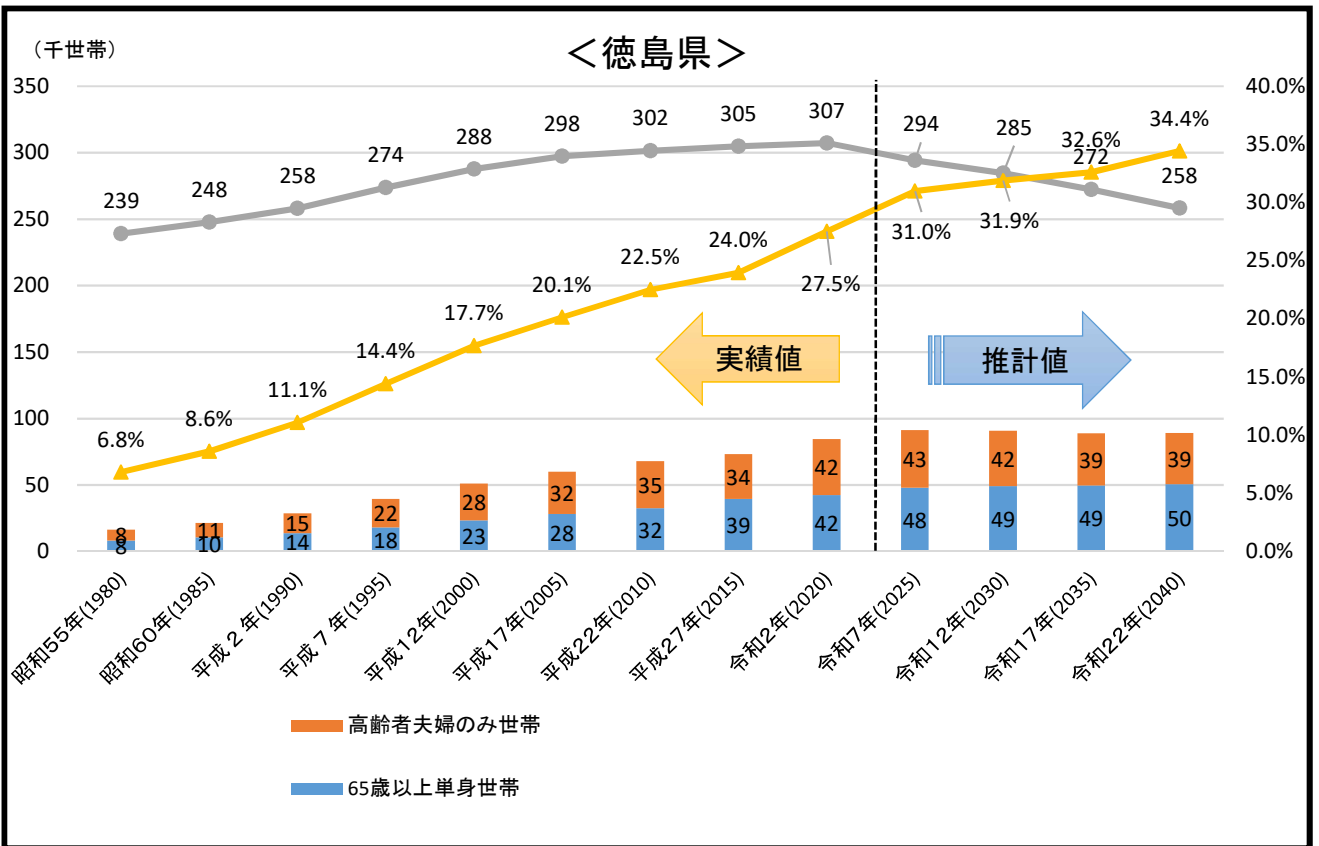
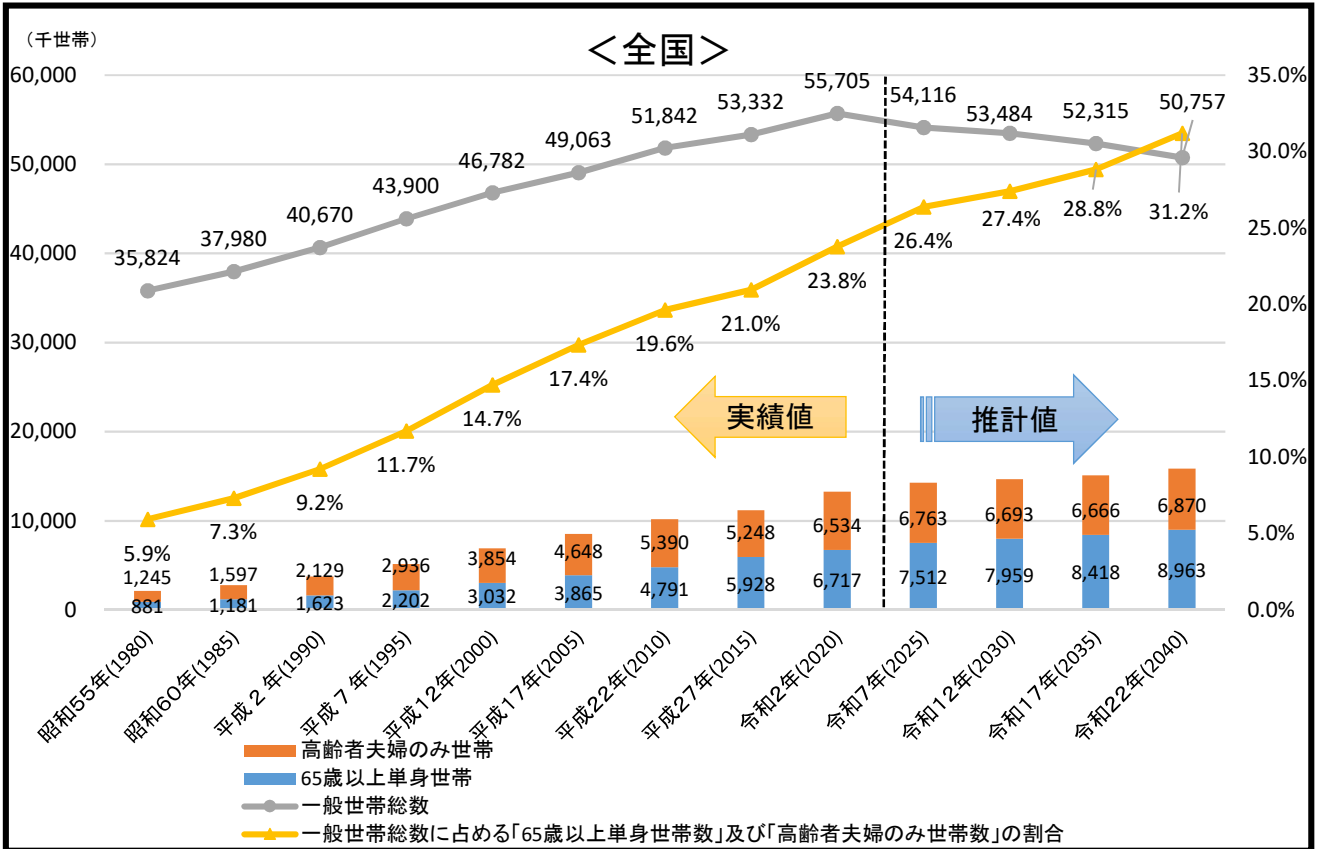
(出所)実績値は総務省統計局「国勢調査」、推計値は国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」による。

<男女別平均寿命の推移(全国・徳島県)>



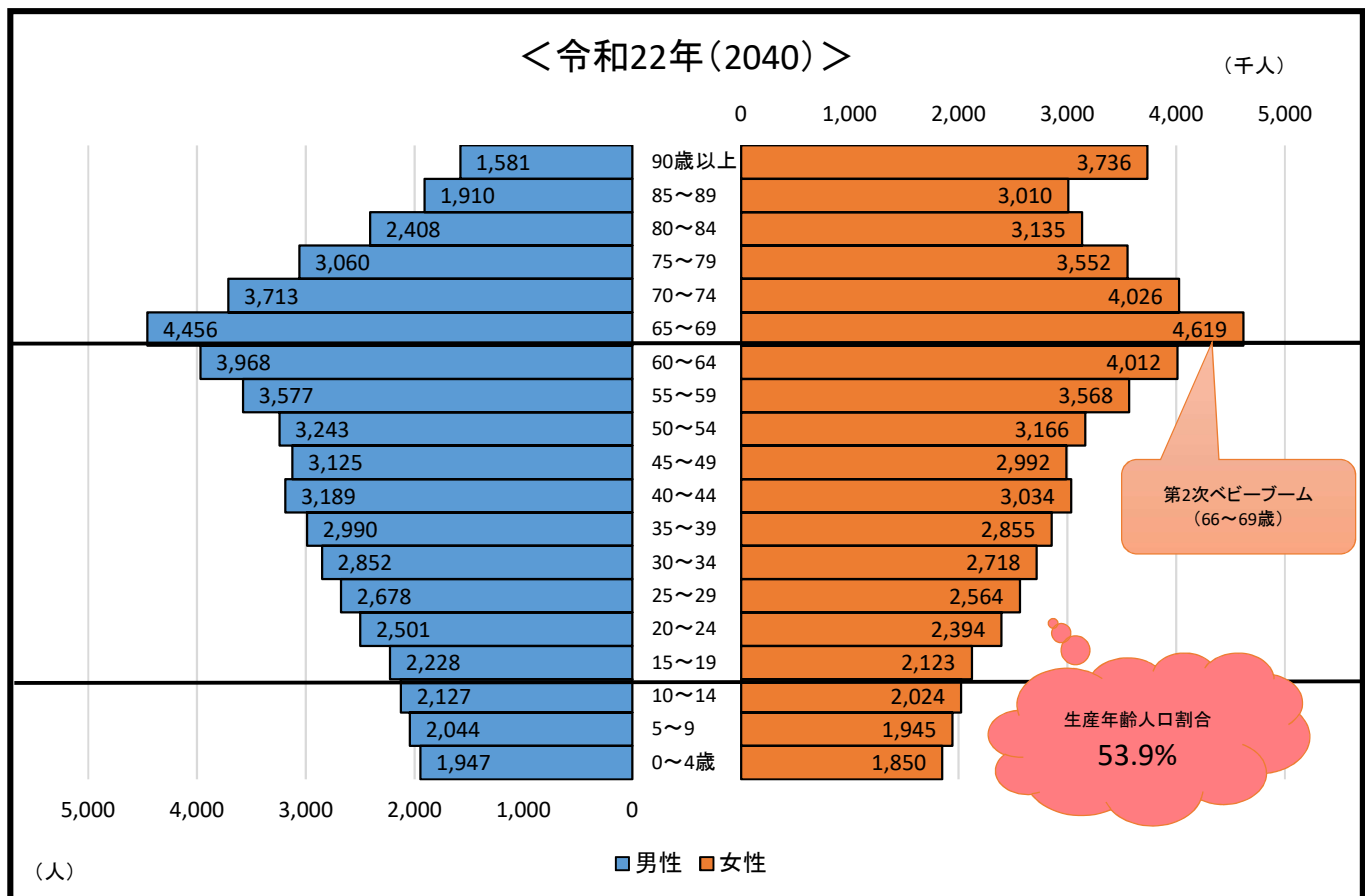
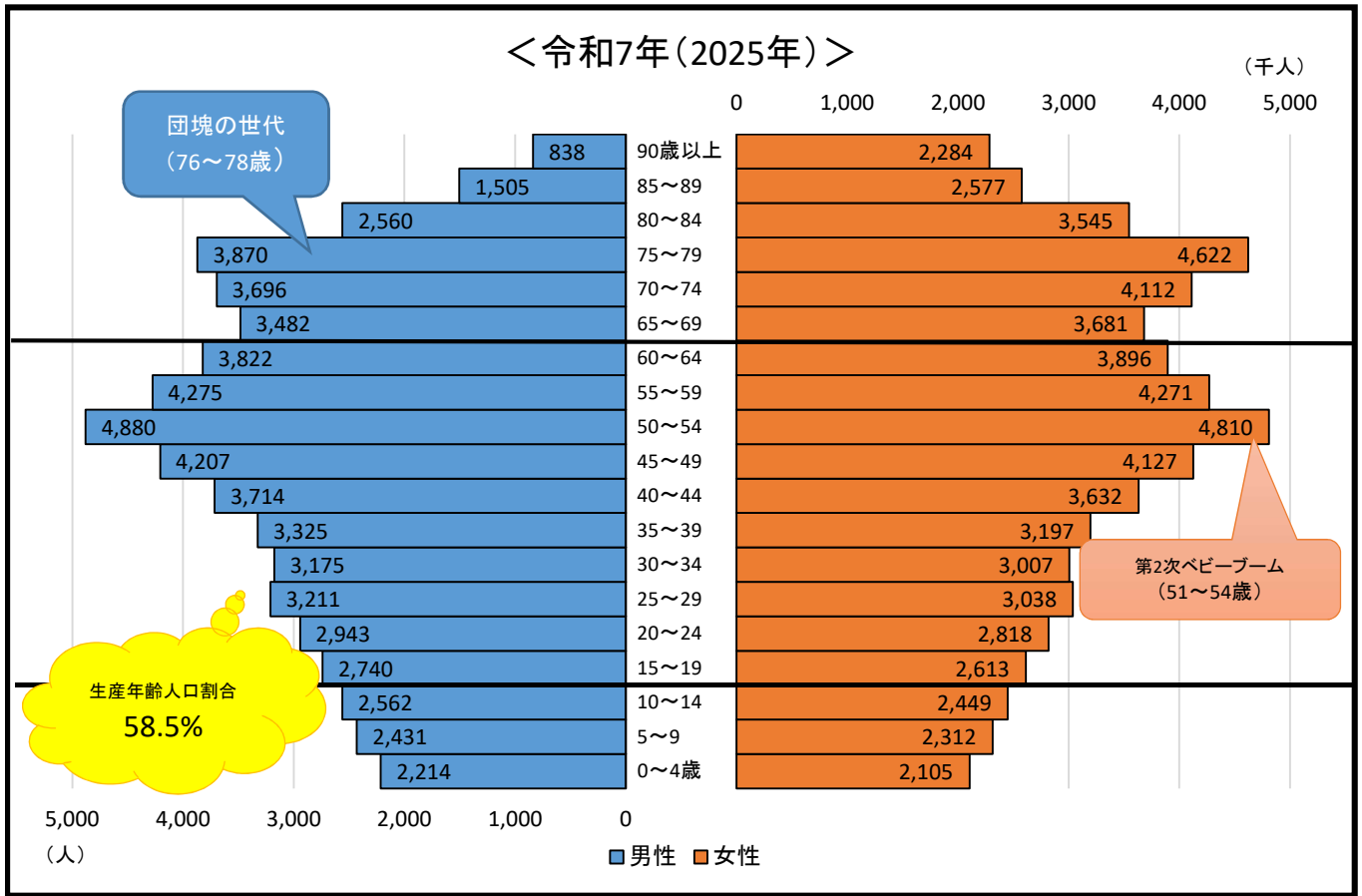
(出所)全国は厚生労働省「完全生命表(R4.3発表)」、
徳島県は厚生労働省「都道府県別生命表(H29.12発表)」

高齢者世帯の推移(全国・徳島県)



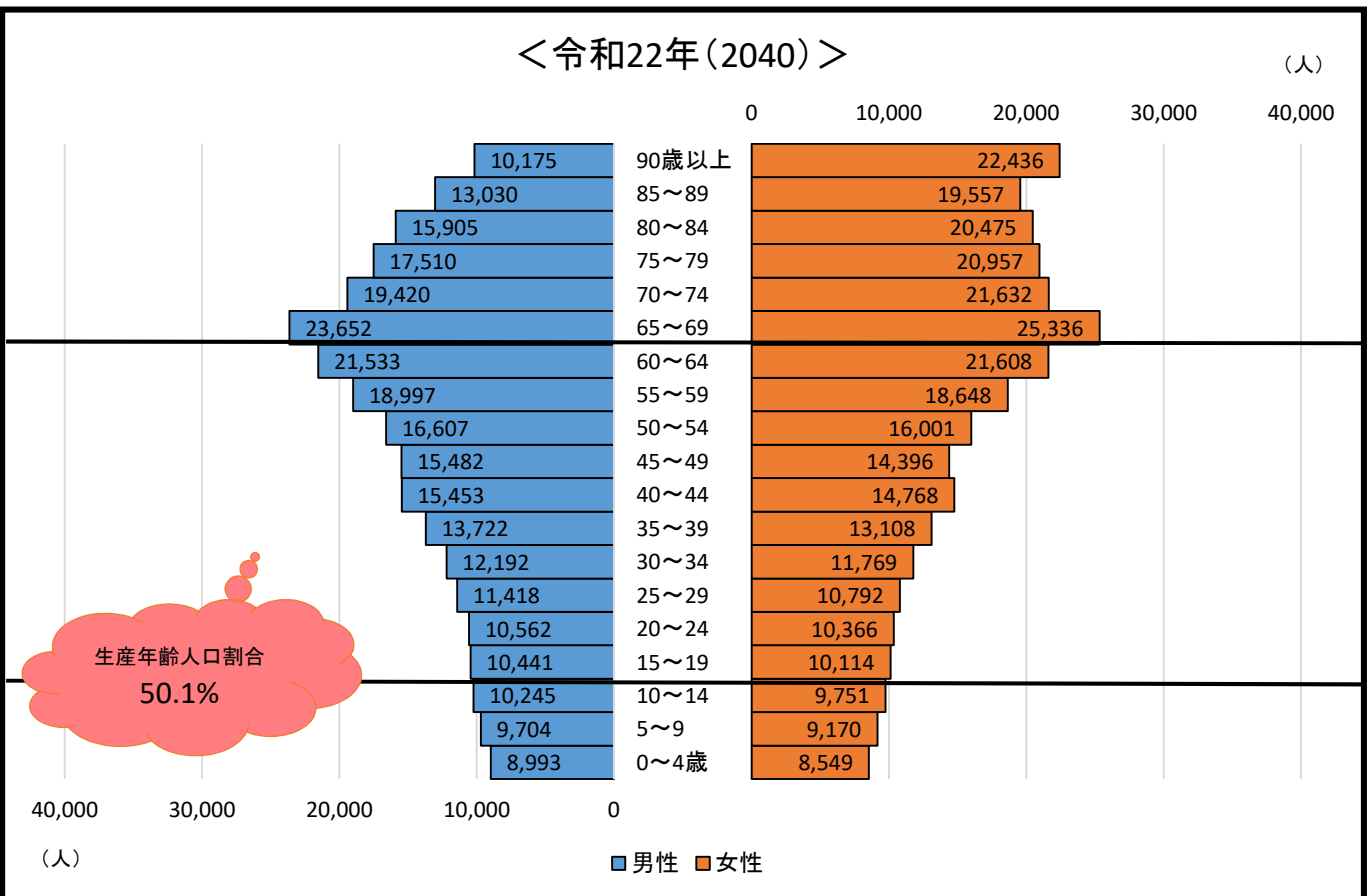
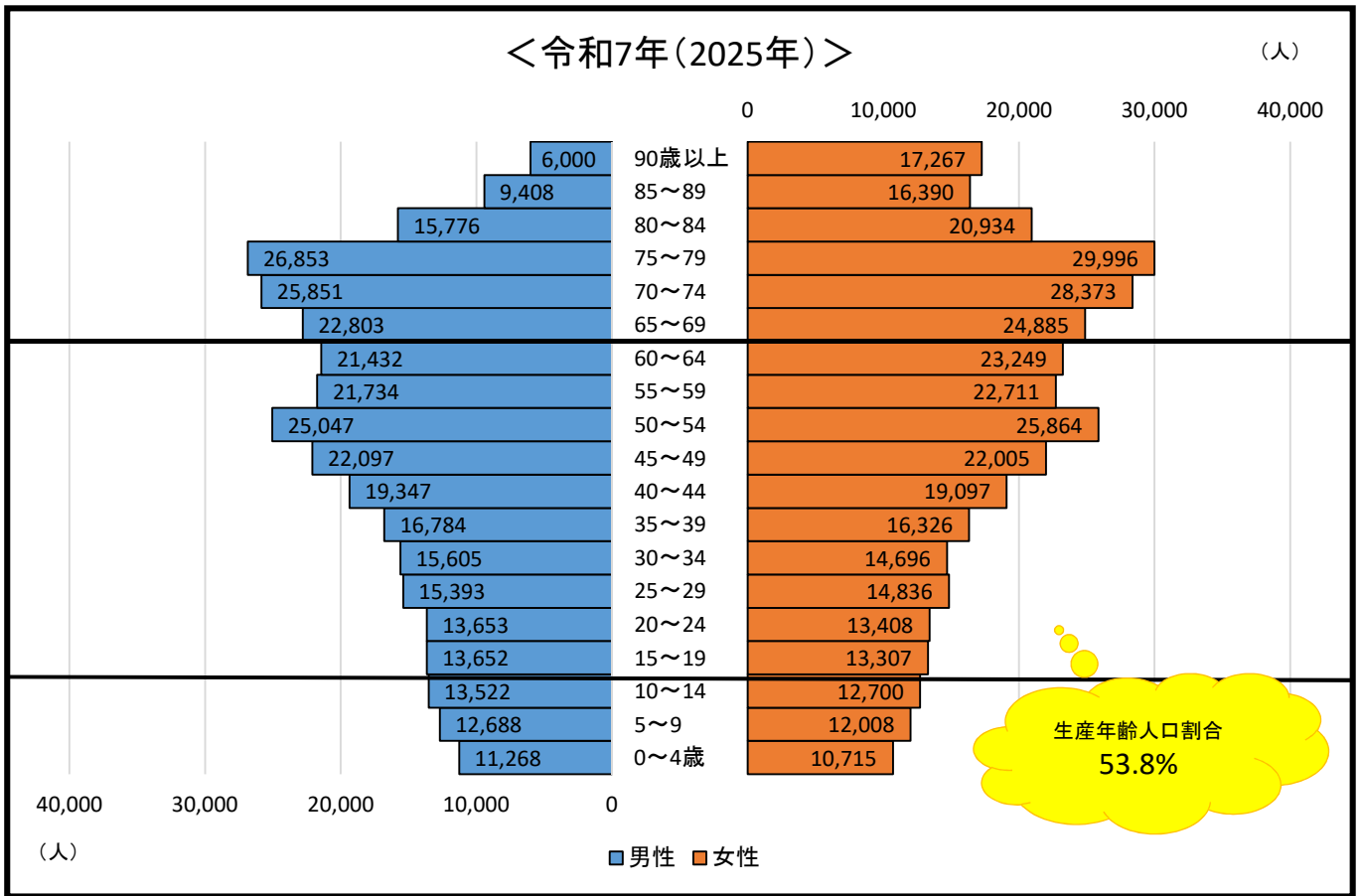
(出所) 実績値は総務省統計局「国勢調査」、推計値は国立社会保障・人口問題研究所「世帯数将来推計」による。
 ※高齢者夫婦のみ世帯とは夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯をいう。
 (R2調査における定義: 夫又は妻のいずれかが65歳以上の夫婦1組のみの一般世帯)

人口ピラミッドの将来推計(全国)



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」

人口ピラミッドの将来推計(徳島県)



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」

第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）

別紙4

（単位：人）

都道府県	2019年度 (令和元年度) の介護職員数	2023年度（令和5年度）		2025年度（令和7年度）		2040年度（令和22年度）	
		必要数	(参考) 現状推移シナリオ による介護職員数	必要数	(参考) 現状推移シナリオ による介護職員数	必要数	(参考) 現状推移シナリオ による介護職員数
1 北海道	100,969	109,543	102,057	112,541	101,917	133,216	92,086
2 青森県	28,313	29,773	28,479	30,725	28,278	33,417	23,580
3 岩手県	23,833	25,366	24,166	26,831	24,126	27,588	21,365
4 宮城県	35,174	39,060	36,695	41,553	37,225	48,906	38,864
5 秋田県	22,602	24,002	22,197	24,056	21,775	24,213	16,858
6 山形県	20,849	22,372	20,547	23,532	20,262	24,180	16,909
7 福島県	32,473	36,298	33,271	36,676	33,187	38,397	28,123
8 茨城県	42,001	46,964	43,001	49,020	43,323	58,108	44,160
9 栃木県	27,585	31,941	28,349	33,367	28,597	40,076	29,250
10 群馬県	37,201	38,751	38,619	40,843	38,965	48,329	36,380
11 埼玉県	93,494	107,207	100,212	114,644	102,408	139,931	108,461
12 千葉県	86,890	97,325	93,255	102,149	95,036	122,736	91,208
13 東京都	183,111	214,551	189,708	223,022	192,073	263,741	191,403
14 神奈川県	139,335	160,655	150,492	170,757	154,301	203,805	157,374
15 新潟県	41,572	44,470	42,990	45,541	43,276	50,814	40,125
16 富山県	19,060	20,645	19,742	21,060	19,913	22,922	18,718
17 石川県	19,411	21,826	21,660	22,451	22,443	25,837	23,582
18 福井県	13,610	12,096	11,986	12,611	12,220	13,466	13,060
19 山梨県	13,689	15,027	14,430	15,264	14,687	16,904	15,480
20 長野県	37,783	40,665	39,357	41,741	39,940	49,286	42,001
21 岐阜県	31,508	39,269	34,814	40,333	36,083	46,227	40,945
22 静岡県	54,310	59,449	56,442	62,988	57,222	71,817	59,918
23 愛知県	103,563	113,987	106,573	121,007	107,637	140,940	106,368
24 三重県	31,763	34,128	33,693	37,709	34,397	40,172	36,824
25 滋賀県	20,233	22,794	20,619	23,908	20,690	29,833	19,428
26 京都府	40,443	45,175	43,122	46,318	43,962	50,378	42,874
27 大阪府	180,208	200,852	184,313	209,510	185,090	235,608	168,069
28 兵庫県	96,877	105,876	98,934	111,416	99,136	134,276	89,151
29 奈良県	25,411	29,731	27,118	31,037	27,571	35,615	25,713
30 和歌山県	24,306	25,570	24,768	25,832	24,769	25,931	21,914
31 鳥取県	11,061	11,901	11,272	12,192	11,345	13,256	11,572
32 島根県	16,760	17,534	17,131	17,632	17,171	18,498	15,995
33 岡山県	34,453	36,636	35,508	37,433	35,890	41,292	37,188
34 広島県	51,503	54,848	52,143	56,820	52,485	66,758	55,467
35 山口県	27,421	30,601	28,466	31,260	28,840	32,782	30,075
36 徳島県	15,419	16,357	15,589	16,358	15,634	17,218	15,527
37 香川県	17,621	19,238	18,249	19,643	18,384	21,348	17,292
38 愛媛県	31,567	31,682	31,592	32,533	31,403	38,373	27,632
39 高知県	14,292	15,478	14,960	15,747	15,196	15,707	15,955
40 福岡県	86,221	94,051	89,753	97,525	91,301	121,345	92,882
41 佐賀県	15,312	16,447	15,629	16,780	15,633	19,065	14,297
42 長崎県	27,400	29,211	28,077	30,278	28,327	31,873	29,205
43 熊本県	31,775	32,961	31,505	33,645	31,396	39,341	30,934
44 大分県	23,595	24,832	24,826	26,360	25,086	30,094	23,332
45 宮崎県	21,447	22,558	21,009	23,339	20,692	27,251	17,703
46 鹿児島県	32,399	36,314	34,219	37,036	34,869	40,849	36,995
47 沖縄県	20,062	22,443	20,850	23,056	21,087	30,859	21,650

（資料出所）2019（令和元）年度の数値：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

2023（令和5）年度、2025（令和7）年度、2040（令和22）年度の数値は都道府県が行った推計による

注1）必要数の値は、市町村により第8期介護保険事業計画に位置付けられたサービス見込み量等に基づく推計

注2）2019（令和元）年度の数値、必要数、現状推移シナリオによる介護職員数の見込みの値は、介護予防・日常生活支援総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員を含む

注3）現状推移シナリオによる介護職員数の値は、近年の入職、離職の動向、及び離職者のうち介護分野への再就職の動向が原則現状と同様に推移していると仮定し、生産年齢人口等の人口動態を加味して推計（令和3年度以降に追加的に取り組む新たな施策の効果は含んでいない）。